

第3学年 英語科学習指導案

日 時 平成29年9月28日(木)
学 級 花巻市立東和中学校 3年2組
(男子18名 女子17名 計35名)
授業者 教諭 伊藤 恵美子

1 単元名 Program 7 What Is the Most Important Thing to You? (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元について

(1) 教材観

本単元では、本当に意味のある国際協力をめざして、世界中でボランティア活動を行って途上国を支援し、また、途上国のために働く意欲のある人材育成への取り組みを続ける国際協力師、山本敏晴さんの活動について学ぶ。そのうち、特に山本さんが取り組んでいる「お絵かきイベント」を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を見ると同時に、自分の国に夢や希望を持って生きる子供たちの描いた絵に込められた力強いメッセージを通して、本当の国際協力とは何か、また私たち一人ひとりに何ができるのかを考える機会となる。Program 3で「地球に優しくなる方法」について学習してきたので、今度は人の為に何ができるのかを考える教材として扱うことができる。広い視野を持ち、人の為に働くことが自分のためになるという価値観で、世界で活躍する人の生き方に触れるようにしていきたい。

(2) 生徒観

本校3学年の英語学習に関する意識は以下の通りである。(H28年県学調質問による)

質問	本校	岩手県
英語の勉強は好きですか。	72%	60%
英語の授業内容はよくわかりますか。	72%	66%
将来、どの程度まで英語を身に着けたいと思いますか。	14%	18%
①国際社会で活躍できる・海外の大学などに進学できる・短期留学できる		
②外国人とコミュニケーションを楽しめる	30%	38%
③高校入試に対応できる	43%	32%

授業や学習は楽しんでいるが、生涯英語を使って活躍したいという生徒の数は、県と比較すると少なく、高校入試のために学習しているという意識の生徒が多い。英語検定に積極的に取り組む生徒の数は増え、検定合格によって自信をつけ、学習意欲はさらに高まってきている。教室以外で、英語でコミュニケーションを図ることができる生徒が多くいるので、国際協力に目を向けさせる教材に重点を置き、さまざまな視点から考えさせ、現代における英語の重要性を認識させつつ、英語を使いこなせる生徒の育成につとめていきたい。

(3) 指導観

今年度、研究主題から、単元ごとに書いてまとめをしてきた。書くことのテーマは以下の通り。

Program 1	要約文：ジャガイモの歴史を書く
Program 2	スピーチ文：世界遺産についてのスピーチを書く
Program 3	意見文：「地球にやさしくなる方法」について書く
Program 4	感想文：物語を読んだ後、印象に残った文を抜き出しながら、感想を書く
Program 5	要約文：回轉ずしの歴史を書く
Program 6	説明文：折り紙についての説明を書く
Program 7	意見文：「The most important thing to me」をテーマに意見を書く

教科書の本文を用いながら、最終ゴールの材料を探しつつ単元終了時に15～20分程度の時間で

書かせてきた。今回は「意見文」でまとめる。一度 Program3 で書きかたを扱っているため、材料集め等も前回よりも目的意識を持って取り組むことができると思う。

また、生徒実態から、生徒間で英語を使用したコミュニケーション場面を積極的に取り入れ活動を仕組み、間違いを恐れず発話する生徒の育成に力を入れていきたい。生徒間での英語のコミュニケーションは時には甘えが見られ、発話量が減るため、教師との英問英答でモデル提示を意識的に活用し、英語の発話量を増やすようにしていきたいと考える。

書くことに関しては、できたものを生徒間で見せ合い、お互いに文法ミスを指摘し合いながら、授業時間内に教師が個別指導にて文法のチェックを入れるようにしてきた。個々の文法能力は大きく異なるため、個別指導が有効であり、その個別指導が活かされるために、生徒間での学び合いを大切にしてきた。アイデアをシェアリングすることで、自分の英語を振り返り、なおすことができるよう支援していきたい。

3 単元指導計画

(1) 単元の目標

- ・間違いを恐れず自分の習得した言語でコミュニケーションを図ろうとしている。(意欲関心態度)
- ・関係代名詞 (who, which, that) の用法を理解し、目的に応じて使用することができる。(言語文化)
- ・国際協力について考え、世界に目を向けながら、現在の日本・自分の状況について意見を持つことができる。(理解)
- ・自分の最も大切なものについての意見文を書くことができる。(表現)

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化の知識理解
分からない英語に対して、分かって努力して聞いたり読んだりしながら理解しようとしている。	習った語句を用いて、意見文を書くことができる。	山本氏の活動を理解し、世界の子供たちの考えを説明することができる。	関係代名詞の用法を理解し、物・人について説明を加えることができる。

(3) 指導及び評価計画

時間	学習内容	コミュニケーションへの関心意欲態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化について知識・理解
1	関係代名詞 who の用法	ペア活動で相手を意識して話すことができる。	ジェスチャーや表情、Basic Dialog を用いた会話を創ることができる。		関係代名詞 who の意味・用法が分かる
2 本時	山本敏晴さんの活動の読み取り	分からない英語に対して、分かって努力して読んだり聞いたりする。	山本さんにとって大切なことを考え表現できる。	英語の質問に答えることができる。	
3	関係代名詞 which の用法	ペア活動で相手を意識して話すことができる。	ジェスチャーや表情、Basic Dialog を用いた会話を創ることができる。		関係代名詞 which の意味・用法が分かる
4	世界の子供たちのメッセージを読み取る	分からない英語に対して、分かって努力して読んだり聞いた	マルアオ君の大切なことを考え表現できる。	英語の質問に答えることができる。	

		りする。			
5	関係代名詞 that の用法	ペア活動で相手を意識して話すことができる。	ジェスチャーや表情、Basic Dialog を用いた会話を創ることができる。		関係代名詞 that の意味・用法が分かる
6	「宇宙船地球号」の活動についての読み取り	ペア活動で相手を意識して話すことができる。	自分にとって大切なことを表現できる。	英語の質問に答えることができる。	
7	意見文の作成	間違いを恐れず、知っている英語で書くことができる。	自分の考えが相手に伝わるような表現を用いている。		正しい文法で書くことができる。
8	単元のまとめ		質問に対して条件を満たしながら表現できる。	英文を読んで理解することができる。	重要表現を理解している。

4 本時の指導

(1) 本時の指導目標

山本敏晴氏の最も大切と感じていることを考え、表現できるようにする。

(2) 本時の指導構想

山本氏の活動について、英問英答を通して理解を進めていく。教師対生徒のやり取りから内容を理解し、その後生徒間でのやり取りができるように展開する。ペアワーク、グループを活用しながら生徒間のインタラクションができよう支援する。最後は交流をした内容を踏まえ、書いてまとめとしていきたい。

(3) 本時の評価規準

観点	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する生徒への手立て
意欲関心態度	ジェスチャーを交えながら相手に伝えようとしている。 発音記号を頼りに正確な発音になるように努めている。	分からない単語も推測して読もうとしている。 アイコンタクトをし、相手の話を分かろうとあきらめずなどしながら会話を続けようとする。	話している相手に体を向けるよう指示する。
表現の能力	ジェスチャーや表情をつけ、山本さんになりきり音読できる。 本文の内容から考えた文を正しい文法で書くことができる。	人称を変え、正しい発音で音読できる。 本文の内容について、表現したい内容を考え、書くことができる。	He を I に換えてと具体的な指示を出し音読させる。 グループで意見交換しながら、その意見を参考に書く内容をきめさせるようにする。
理解の能力	教師の発問に、素早く反応し、文で答えることができる。 正しい文法で、英語の質問に書いて答えることができる。	教師の発問に、単語で答えることができる。 英語の質問内容を理解し、答えを探し、書くことができる。	生徒が答えられるような質問に難易度を下げながら、自力で答えることができるように質問を工夫し、達成感を味わわせる。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
見通す 10分	0 Writing Review 1 Warm up 2 Oral Introduction	<ul style="list-style-type: none"> 個々の目標とする書き取りをし、復習。 以前に習ったことをベースとした話をする。レディネスをそろえる。 山本氏の活動について、説明をする。 教師の発問に自分の意見を持ちながら、答えていく。 	<p>指導上の留意点</p> <p>考 自分の考えを持つ場面 学 学び合う場面</p> <p>書 意図的な書く活動 ◆評価 ◇支援</p> <p>◇新出語句の説明を含めながら、初見で教科書を読んだ時に理解が進むような質問をする。</p> <p>考 素早く反応し答えるよう、個人に応じた難易度に変えながら、考えさせる。</p>
学習課題 : What is the most important thing to Mr. Yamamoto?			
解決する 30分	3 Reading 1) 黙読 2) 音読 3) 新出語句 4) 解答 p.67 5) 音読練習 4 Activity 1) 山本氏自己紹介読み 2) インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> p.67 を黙読し、内容を推測する。 ペアで音読しながら、意味を推測する。 自分が推測した内容と合っているか考える。 自力で答えを探し、アンダーラインを引いたりしながら答える。 ペアワークで音読をする。 My Project 7 の復習も兼ね、インタビュー形式で質問してみる。 	<p>学 文字と音、発音記号を意識しながらペアで読む。</p> <p>◆相手意識を持ちながらペアワークを進めているか</p> <p>学 考 山本氏になったつもりで音読したり、インタビューしたりする。</p>
振り返る 10分	5 Writing 1) 個人 2) ペア 3) 全体	<ul style="list-style-type: none"> 山本氏の大切なことが何なのか、本文を頼りに自力で1文にまとめる。 お互いの文法ミスを見つけたり、アイデアをシェアリングしたりする。 全体でアイデアをシェアリングする。 	<p>書 考 自分が考えることを表現する。</p> <p>◆自分の考えをまとめることができるか。</p> <p>◇ペアワークにより、自分の考えをまとめるよう指示する。</p>
	6 次時の予告	<p>学習のまとめ :</p> <p>The most important thing to him is to help people who are suffering from hunger and illnesses.</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題について説明する。 	

<その他、期待される生徒の答え>

*The most important thing to him is to increase the number of local people who are willing to work in developing countries.

* The most important thing is international cooperation.